

科目名	和声3		科目ナンバー	MU-MB1204		
担当者 (実務経験名)	教授 井上 幸一					
履修期	2年 後期			卒業単位	選択 2単位	
免許・資格						
授業概要	西洋音楽の古典期に確立された音体系への理解を深め「響き」に対する感性を養うとともに、旋律課題や種々の課題の実習をとおして、実用的に楽曲を分析するための知識を習得する。					
到達目標	知識・理解	和声法におけるV7及びV9の和音の配置と連結が理解できる。				
	思考・判断	ドミナント諸和音の連結と配置の知識を楽曲分析に応用できる。				
	興味・意欲・態度	ドミナント諸和音の変化と響きに関心をもつことができる。				
	技能・表現	ドミナント諸和音のバス課題に基づきリアリゼーションができる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション、V7の和音の配置と連結1		教科書P69～72(V7の和音の配置と連結)を読む		4
	2	V7の和音の配置と連結2(定型とV7第2転回位置)		教科書P72～74(V7第2転回→I1の連結)を読む		4
	3	V7のバス課題1(C dur,c moll)		教科書P74～75(バス課題の実施法)を読む		4
	4	V7のバス課題2(E dur,Es dur,d moll)		課題28(1-3)を実施する		4
	5	V7のバス課題3(As dur,A dur,g moll)		課題28(4-6)を実施する		4
	6	V7のバス課題4(H dur,f moll)		課題28(7-9)を実施する		4
	7	V7のバス課題5(B dur,h moll)		課題28(10-12)を実施する		4
	8	V7→VI連結のバス課題1		教科書P78～79(V7→VIの連結)を読む		4
	9	V7→VI連結のバス課題2		課題30(1-2)を実施する		4
	10	V7→VI連結のバス課題3		課題30(3-4)を実施する		4
	11	V7→VI連結のバス課題4		課題30(5-6)を実施する		4
	12	V7の根音省略形体のバス課題実施		教科書P80～82(V7根音省略形体の配置と連結)を読む		4
	13	V9の配置と連結1(配置制限と限定進行音)		教科書P85～88(V9の和音の配置と連結)を読む		4
	14	V9の配置と連結2(長調の根音省略形体等)		教科書P89～92を読む		4
15	V7及びV9の和音の配置と連結、D諸和音について		V7及びV9のバス課題(補充課題)を実施する		4	
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○	○			60
	レポート					
	課題	○	○	○	○	40
	実技					
	受講状況・態度 その他()					
フィードバックの方法	課題の実施と添削指導によって行う。					
教科書	「和声 理論と実習Ⅰ」島岡譲 他 著(音楽之友社)					
参考書	「和声と楽式のアナリーゼ」島岡譲 著(音楽之友社)					
アクティブ・ラーニング	バス課題の実施において他者とのディスカッションをとおして取り組む。					
ICT活用	e-ラーニングサイト授業コースを活用する。					
メッセージ・備考	実施した課題の響きを確認するとともに楽曲分析に活かしましょう。					
関連科目	音楽理論 和声1 和声2 作曲法					